

## 第4回 奈井江町まちづくり町民委員会 議事録（要旨）

【日 時】平成24年6月11日（月） 午後6時00分～午後8時00分

【場 所】役場（大会議室）

【出席者】委員～12名（欠席3名） 町～15名

委員	太田裕治		中村尚子	×	東藤 勲		萬 孝志		山口俊哉	
	萬 由美子		千徳信行		三原 新		山 節子	×	石川トヨ子	
	佐々木修		梅澤由香		堀 真希		加藤智恵美	×	米内公大	
町	北町長、三本副町長、碓井課長、秋葉課長補佐、高橋係長 大津課長、加藤主幹、岩部技師 岩口課長 菊地係長 事務局：相澤課長、松本係長、遠藤主事、都築主事、高橋主事									

### 1. 開会 相澤課長

町民委員会出席大変お疲れ様です。今まで社会福祉協議会会長ということで廣部さんが町民委員会に出席いただいていたのですが、役職改選ということで、新たに瑞穂の東藤勲さんが会長に就任し、委員になっていただくこととなりました。町長から委嘱書をお渡しいたします。

### 2. 委嘱状交付（町長から、東藤委員へ）

### 3. 委員長あいさつ

みなさんお晩でございます。こんにちは、というぐらい日の長い6月になり、北海道で一番いい季節になったかと思います。

いよいよ活性化ホールの状況が出てまいりました。新しい施設ということで、町民の皆さんも非常に関心があることかと思えます。色々な形で意見を反映させた中でより良いものをつくりたいという町長の意思がありますので、町民委員会としてもそういったこと担っていかなければいけないなと思っております。

また新しいメンバーの東藤さんも今後、委員会では必ず一度は意見を貰うという私の趣旨ですので、ぜひ意見をお願いします。

### 4. 町政運営等に関する主な動向について

委員長からお話がありましたように、すっかり日が長くなりまして、お仕事のお疲れの中、お集まりいただきまして感謝を申し上げます。

ニュース等すでにご承知の通り、節電に関する取り組みについてですが、先日北海道電力奈井江発電所の山崎所長が来庁しまして、泊発電所の停止に伴う夏の供給状況と合わせ、7月23日から9月7日までの節電に関する協議依頼を受けたところです。役場では以前より積極的に節電の取り組みを行っているところですが、計画停電の実施となりますと住民生活はもちろんのこと、病院などに大きな影響がでることになりますから、少しでも協力できるところは協力していくという方針を持ちながら全町的な見直しについて改めて内部協議を行っていくところです。

2点目は、住電精密の新工場稼働について山口委員さんも今日もご出席いただいておりますが、昨年9月に着工いたしました新工場が5月26日に稼働しました。起動式には私もお案内を受けましたし、住友電工本社の松本社長さんが参加していただきまして、約20億の投資がされた新工場では2本の生産ラインが整備され、機械をコンピュータで管理し、自動化した最先端の技術を導入することが生産量を増し、製造日数の半減が可能とされています。

翌日は例年開催されています、芝桜まつりが行われ、今年には高橋知事が会場に駆けつけていただきました。前日にオープンした新工場の視察をしていただいたところです。住電の中堂社長は奈井江工場は現在唯一、一貫生産可能なマザー工場の役割を果たすために技術革新が出来る工場にと、今後も奈井江工場を中心に事業展開する意向を話されています。国内の経済状況が未だ先行きの見えないところにある中で、奈井江町が誇る企業であると改めて感じたところです。

農業・工業・商業の連携を図った奈井江町としても出来る限りの支援を行いながら、豊かで安全安心な暮らしやすいまちづくりを推進して参りたいと考えているところです。

さて本日の議題は、かねてから皆さん方にご論議をいただいております(仮称)地域活性ホール平面プランが作成されました。担当より説明いたしますが、可能なことは実施設計に組み入れていきたい考えでありますので、皆さんからのご意見等を賜りますようお願い申し上げます。

#### 5.(1)(仮称)地域活性化ホール平面プランについて(碓井ふるさと振興課長説明)

(委員)全体的にはいいのかなと思うのですが、駐車場をはっきりさせるということですよ  
ね。

(碓井課長)ここに歩道が付く形になって、動線的にはこのようにしていくものですから、新たに駐輪場を設けていますので、この部分は注意をして整備をしなければならないと思っております。自転車が利用する場合には区切りをきちっとして安全に対策をしなければならないと思います。

(委員)メイン駐車場はどこですか。私ももう歳になりまして、足が弱くなってきたもので、身障者の方とかの車をどのあたりを考えられているのかなと思います。

(碓井課長)取り壊している一番端の部分が駐車場、図面的には約30台とれる面積があり、例えば障害者の部分は一番近いエリアに設定をして、そこの歩道を通してこの風除室から入る、という形の動線はどうかなというのが実は基本構想の時から説明してきた内容です。

(委員)屋根とかがってどんな形になるのですか。無落雪とか大雪だったら雪を下ろしたりするのが大変だろうなと思ったのですが。

(加藤主幹)屋根ですが平面図の次の絵を切っ中を見た絵があると思うのですが、基本的には

屋根はフラットで考えています。構造的には鉄筋コンクリートで考えているので、屋根の雪下ろしの必要はないかなと考えているところです。

(委員)文化ホール側でやっていたイベントはこの近くに来る感じにするのですか。イベントはもうこっち側に移動してこのホールの近くでやるのですか。

(碓井課長)運営方法はこれからの議論ですが、ここをつくる時のイメージとして農協や商工会と話ている中では農協駐車場を含めてご理解いただけるということですので、中も一体的に使えとすれば、こちらの方がいいのかなと思っています。ふれあいまつり、秋まつりとか、農協ビールパーティなどはこの建物、外の駐車場等のエリアを考えると良いという思いで、今後運営を考える中で整理をしたいと思っています。

(委員)食堂とありますけど、食堂とはどこかのお店が入るとかではなくて、ただ座ってお弁当とかが食べられるという形ですか。

(碓井課長)イメージとしてはここで休んでいただくのですが、普段はオープンにして、例えば高校生がカップ麺を買ってきてここで食べるとか、お年寄りが病院や買物の帰りの時間の間にちょっとした物を買って食べるようなスペースを考えています。また、この食堂でも可能だろうと思っています。

公民館でのちょっとした空スペース、このようなテーブルがあるところで子供達が集まって友達と遊んだり、夏休みなどは涼しいから勉強している子供が結構います。そのようなスペースがあれば普段もできるかなという考えです。

もう一つはお葬式があった場合にここを閉めてこの通路を通して食事をとれるスペースに活用できないか、というような使い分けをできればと思っています。

(委員)この食堂で何かを注文して買ったりする所ではないということですね。

(碓井課長)お店を構えるというスタンスはもっていませんが、ここに厨房とあるのが、先ほどのイベントなどで商工会の皆さん方が色々な食べ物を用意する時の仕込みとか、下準備があるのでこの場所で利用できるようにすれば、ここ全体を利用しながらイベントに活用できるのではないかという考えです。お葬式のご飯とか今はほとんどお弁当で、お味噌汁を沸かしたり、お茶を出したりするということですので、全体を広く使いながら使い勝手のいい物にできないかと思っています。

(委員)オープンスペース側に自動販売機が見えるほうが使いやすいと思います。

(碓井課長)その通りです。それは設備との兼ね合いで、電源の取り方だとかも含めて、この全体の中でどこに販売機があればいいのか壁とか窓の配置も含めて実施設計の中で

協議したいと思います。

(委員) 駅とか病院にもあるようなパンとかカップ麺とか買える物があつたらいいですね。

(碓井課長) 農協さんで買物していただいた物を食べてもらっても結構だなという思いもあります。そのようなことも含めて色々な要望に答えられればと思います。

(委員) 例えばちょっとした懇親会で宴会をやりたいといった場合、それは食堂を貸し出すということになるのですか。

この話が出たときに大ホールは、ダンスとかサークル活動があるのかなということで鏡を置いたらいい、という話もあったと思います。屋外でイベントをやるときに文化ホールの前にいつも電気の配線だったり水廻りだったりするのでその辺を考えていただいたらいいのかなと思います。

(碓井課長) 施設全体どう使っていくかは、平面図を固め、運営のあり方も含めて考えていきたいと思っていますので、企業や色々な団体の皆さんが可能であれば、仕出しを取って簡単に懇親会をやるとするのは、これから協議を進めていくことだと思います。

管理上、葬儀というのがなかなかいつ入るかわからないということで、葬儀が入った時には、使用できないこともあるので、その部分の取り扱いはどうするのか。例えば農協事務所の2階とかを利用していただくというご意見もいただいています。そのようなことでまずは葬儀との兼ね合いをどう整理し、明確にしなくてはいけない部分と運営の中でなるべく葬儀も色々な時間帯もありますので、そこも含めてこれから検討する課題になっています。

ダンスの関係ですが、ここも団体から強く要望があるということでフロアでダンスができるようにぜひお願いしたいというのが、構想をつくる段階からずっと要望がありました。そのようなことで日中空いている時にダンスができるということを想定してまして、壁面に鏡は必要だと捉えています。

また、外のイベントの時に電源や水道の使用の部分は設計の中で詰めていきたいと思います。災害時に例えば発電機を借りてきて、自電する設備も必要だという話もしていましたが、イベント等で有効活用できる設備が必要だと思っています。

(委員) 第1回の図面より棲み分けができて良くなってきていると思います。それと交流サロンの方は買物をした帰りにお年寄りの方がタクシー待ちをしたいと思います。平面図面を見ると西側がガラス張りです外が見やすいですけど、西側の方にタクシーの乗り場みたいなのがあればいいと思います。わざわざ南側まで歩いて行ってタクシーに乗るより、入口の側にタクシー乗り場があればいいかなと思います。それと図書とパソコンコーナーはどういうことをするのですか。パソコンはただ置いて勝手に使えるということですか。

(碓井課長) 最初に車の関係ですけど、農協駐車場と賃貸契約といいますか、交通安全を配慮しながら、この動線をどうしようかということを外構工事も含めて検討したいと思います。新たな公共交通対策というのを町のほうで検討している時に例えばコミュニティバスをもっとこの辺まで乗入れできたらいい、というご意見も出てくるといいますので、その部分も含めて利用しやすい方策として乗り場の工夫も視野に入れていかなければならないと思います。

図書とパソコンの関係はまず図書の関係はここで貸し出しはできないと思いますが、移動図書のように図書館から定期的に一定量の本を持ってきてここに立ち寄った時に読書ができるとか、図書館で借りた人がここで返却できることは可能かという話はしています。図書を楽しめる空間をつくりたいということで、アンケート等で要望がありました。

パソコンに関しては色々な情報収集をしたり発信をしたりということが大事ではないかというご意見をたくさんいただいているものですから、運営方法はこれから具体的に詰めていくことにはなるのですが、例えばパソコンで、町の商工業の内容が検索ができるとか、色々な外部の情報を知り得ることができるとか、またテレビもほしいということなので、壁を利用して設置したいと思っています。それ以外のモニターを使って町の情報PRや企業のPRなどが見られる、という色々な情報提供を含めて何とかならないかなというイメージを持っているところです。奈井江商業高校が商工会と連動して色々なお店のホームページをつくるなどご活躍をいただいていますので、一緒に参加してもらいながら情報提供できないかなと思っています。

(委員) 先日仕事でお客さんのところに行った時に、たまたまこの活性化ホールのお話をされて、その方はお子様を亡くされた経験がある方で、その葬儀会場には近づいただけで具合悪くなってしまうそうです。

今度活性化ホールができて葬儀の場所と人が集まる場所。それを一緒にするのはどうなんだろうねということをお話されていました。なるほど、僕にはその視点はなかったなと、僕も子供2人いますけど子供が先に死んじゃいましたと。ここで葬式をして、ふれあいまつりのイベントを考えなさいと言われてたらつらいものがあるなという思いもありました。物理的な住み分けだけでなく、精神的な共存というのも難しいのだなと感じました。

間取りについてなのですが、図書PCコーナーは部屋にする必要があるのでしょうか。オープンでもいいのかなと思います。PC2台並んでましたら小学生の女の子が使いたいけど、おじさんが使っていたら入りづらいということにならないかなと思います。先ほどの話でここが駐車場で大きなイベントができて、先ほどの説明を聞くと交通の関係でこっちが駐車場だから。でもこっちも駐車場で、どういうことかなと。イベントの時は駐車という機能はないと思いますので、開けてできるようにしたらまた色々なイベントができるのではないかな。もっと言ってしまうと、ここがいたら

すごく大きなことができるのではないかなと感じます。

( 碓井課長 ) 色々な心情的な背景はあろうかと思いますが、お葬式ということ自体も地元で要望が非常に多かったという部分で、今回施設の中で取り組みたいという一つのコンセプトであります。

町をもっと活性化をして町民が集う場所もこれまた必要でないかという要望を受けながら、今の現状の中ではなるべく棲み分けをしながら共存する建物という方向で進んできたということですので、なんとかご理解をいただければと思います。

PCスペースは壁があってもなくてもいいのですが、部屋という感覚ではなくて、書棚も腰ぐらいの低い棚なのでここもオープンになり事務室の方から管理しやすく、部屋というイメージにはならないと思います。

駐車場は確かにおっしゃられる通りで今は建物を建っているところを取り壊してここを広く広場にということで、下の方に駐車場があるということなんですけど、この使い方をどのようにするかということも課題として考えたいと思います。まだ決定はしていないんですけど、農協店舗はもしかするとこのようなエリアの中で建設される可能性も実は高いと聞いています。店舗を新たに建てる時には玄関を西側か南側かどちらかにしたい、砂川の店舗が北側玄関で冬が大変らしいので、こちら側の方に店舗を持つてくることは今の所考えていないということで、これは確定した事ではないので明確にはお答えできないですが、こちら側にくると農協を利用してこの空間をうまく歩けるという部分で、交通安全ゾーンを含めてなるべく歩道と駐車場の間に安全を確保するような柵を設けるとか、そのようなことも配慮するとなれば、農協との連携を含めた時にその辺はどうかなという提案です。色々なご意見をいただきながら決めていきたいと思っています。

( 委員 ) 除排雪の問題で1回目の時にお伺いしていたのですが、大型の重機が入らないだろうと。農協の駐車場、工場の駐車場、南側の駅側の方にくる駐車場の雪をどこにもっていくのかなと思っています。

それとプレイルームの隣に備品庫とあるのですが、プレイルームと食堂と大きく取れなかったのかな。葬儀場の関係もあると思いますが、プレイルームを日の当たる方ということも考えられてのことだと思うのですが、備品庫が真ん中にくるのはどうなのかなと。それをずらせばその分プレイルーム、食堂、交流サロン、図書PCコーナー一括で大きな広場になるのではないかなと思っています。

( 碓井課長 ) 駐車場の関係は確かに大きな問題だと思っております。平面が確定していない段階ですので、次の段階として、この土地をいくら賃貸させてもらって用途をどうするかということを考えなければなりませんし、農協と一体となって全体の除雪を考えなければいけないことだと思っています。その時に雪の堆積場の問題も通路をどの程度空けるかという問題もこれから協議をすることになりますので、冬期の安全をど

うするかも合わせて協議したい思っています。

器具庫ですが、こちらのホールにはここに器具庫があり、収納スペースがあるんだけど、こちらサイドには収納するスペースがないのでどこかとれないか、という提案がありました。事務的な物の収納も含めて、効率よく全体の調整の中でスペースがあるのかどうか検討していきたいと思います。

(委員) お通夜があった時に、管理人さんいるのですか。もしいるのであれば仮眠室や休憩室とかはどこになるのか、もし管理人さんがいない場合は、何かあった場合どこで対応するのでしょうか。

(碓井課長) 今回の段階の中で申し上げましたが、とにかく平面図を確定させて前に進んでいこうという段階のものですから、管理の部分というのはこれからです。それで色々な管理運営等を農協・商工会と含めて議論したいと思っているのですが、それが夜何時に閉館させるのか夜間警備が必要なのか。今ある葬儀場の状況を見たときに、ある程度は施錠をしっかりと明確にし、夜は機械警備的なもので済みますのか、これから進めていかなければならない状況でありますので、今すぐは明確なことは言えません。警備の問題もある程度必要となれば、どこかに仮眠室程度が必要になるかもしれませんが、今はそこまで踏みこんだ議論にはなっていませんが、今後一般的な色々な会館の例を見ながらと思います。

(委員) 葬儀式場として、祭壇をつくりませんが、普段使う照明と葬儀の時の照明は異なるものを、と思っています。うちの甥っ子が札幌にプロとして働いています。小さな葬儀でも、小さな子供から年寄りまで祭壇をきれいにして心遣いができるそのような専用の照明設備が一つでもあれば、心から故人を送ってあげられるのではと思います。

奈井江で色々なお葬式をしても本当に大きなお葬式になったら(町外の)葬儀場の方に行くでしょうが、でも参列するお年寄りも地元でお参りに行けて良かったと言う声もあります。

あと、ある行事があった時、公民館で、お弁当とかジュースとかを飲む場所で、お年よりも子供達も小学生もたくさんいた時に、10人くらいの子どもが騒いだのです。

聞くに聞きかねてそこにいた年配者の方が「お前ら少し静かにしろ」と一言言ったら、騒いでいた子供が「うるせいな、くそじい」と私の目の前で言ったんですよ。新しい施設で、子どもからお年寄りまで自由に使用できるのはいいと思いますが、管理体制や目配りをしてもらい、楽しい場所であっていただきたいなと思いました。

滝川市でも色々な所がありますけど常時2人か3人いまして、一生懸命に各層の方に話かけて、色々なことをしている。こういう風にすれば、子供も孫もみんな来ても楽しい場所となればと思います。

(碓井課長) 1点目の照明の関係は本当にいい話を聞かせていただきました。祭壇を設置すると

したら、設備が重要だと思いますので、その辺は専門業者さんにも相談させていただきながら、協議したいと思います。

色々な方が出入りをすると、やはりトラブルは起きるのかなと思いました。しかし、色々な世代の方が集って子供達から元気を貰うということもあるのだと思います。そこはこの施設が町長が最初から申し上げていますとおり、町民みんなでつくり上げる施設というような思いがありまして、そこは各方面で使う方のモラルとかをみんなで作って上げていくことができればいいなと思いますし、管理にあたる人たちが単純に注意をするわけではなくて、ここで何をして楽しんでもらうかということも、これから考えていくことだと思います。そのようなことも含めて、管理運営の方法も議論しなければいけないと思っています。

(委 員) 女子トイレなのですが、葬儀があってもプレイルーム遊んでいても、小さい子供が来ると思います。オムツ替えをするところがないと非常に不便です。小さい子供を連れて歩くと女の子はお母さんと入るのですけど、男の子はある程度できるようになると立ってほしいという。女子トイレの中にオムツ換えのスペースも一緒にあるととても助かると思います。

(碓井課長) 議論した時も時間がなく、ここは配置も違う方向を向いたり、女子トイレも3つあったのですが、もう少し増やせないかと言うことで、今の時点では4つになっています。障害者トイレにもそのような物も作っていますが、例えば4つは足りない3つでいいからオムツ換えを優先にするべきだというのが、もう少し広めの中でもやっていいのかというものもありますので、できれば今のご意見のオムツ替え台を置くスペースをとると言うことをもう一度検討させてもらいたいと思います。

(委 員) プレイルームには結構おもちゃがたくさんあったらうれしいなと思います。あとイベントで、ビールパーティーの時のトイレが仮設トイレなのですが、そのような時もこの中のトイレが使えたらいいなと思います。

(碓井課長) プレイルームのおもちゃはどのようなものがいいかというのを、できれば色々なご意見をいただきながら時代にあった物を置いてみたいと思っています。

イベント全体での使用と、町の中に公衆トイレがないため、ちょっとしたお買物の時にも利用していただければと思っています。さっき意見のあったビールパーティーなどのイベントの時にもう少し数が多い方がいいのかなというのが、今後の検討課題といたします。

(委 員) 備品庫のことで話が出たと思いますが、備品庫というのは地下とかに作ることは可能なのですか。最近竜巻とかありましたよね。地下室とかができれば竜巻とかの非難場所にもできるので備品庫兼地下室のような感じでできればいいかなと思いました。



厨房とかプレイルームも地上高は 5.5mあるのですか。もし入口の上の壁があるのであれば、そこを白っぽい壁にしてパブリックビューイングに使えるような形にしてほしいのと、予算の関係とかもあるかと思いますが、地域の方が集まる最新の設備と、他の町からの視察に来るような設備をお願いしたいと思います。

また、周りに大きい建物がないので、屋上にソーラーパネルの何枚かでも置いたり、最近天体ブームで屋上とかに星とかが見れる天体観測ができる設備があれば、この辺にそういう所がないのであれば「奈井江はいいな」と思われるのかなと思います。

PCコーナーがありますが、パソコンとかは、モデルチェンジとかが早いのでPCコーナーは要らないかなと。もちろん無線LANとかの設備があれば、今はスマートフォンやiPadのようなタブレット端末を携帯しているので、そういうのがあれば無線LANとかで十分なのかなと思います。そうすると、ここを備品庫にできるのかなと思います。

( 碓井課長 ) できること、できないとかはこの場では議論はしませんので、ご要望と言う形で受け止めたいと思いますし、パソコンに関してはそれぞれアンケートをいただいた中で要望がありますので、先ほど申し上げました、色々な情報発信だとかある程度は固定したパソコンを置いて利用できる部分を入口として考えてみたいなと思います。地下室は想定はしておりませんが、色々なアイデアがあると思いますので、どんなことが可能か皆さんの意見を記録しながら考えていきたいと思います。

( 委員 長 ) 全員に意見をいただきました。貴重な意見をいただいていると思います。時間が迫りましたので、他に何かあればどうぞ。

( 委 員 ) 授乳室のある施設はものすごく行きやすいと思います。

( 委 員 ) 身障者のトイレだけスライドドアだと思いますが、開けて内側に開くときに中側に手洗い場にいた人にあたったりは大丈夫ですか。スライドドアの方が危険性は少ないのかなと思います。トイレは両側が開いたら意外とお葬式の方はそちら側から入ってきて、プレイルーム、フロアの方はこちらから入るとするのがいいと思います。

( 委 員 ) 管理のことですが、お通夜の際の夜間の管理。お通夜で泊まっている方が勝手に交流サロンの方にいけるのはどうかと思います。食堂側は扉でシャットアウトできるのですが、入口の方は自由に行き来できるのですが、どちらもいけないようにしたほうが防犯上いいのではないのでしょうか。

( 碓井課長 ) 授乳室は私も考えてまして、今後 30 年も 40 年も使うので、今の時代必要と思われる設備は多少件数が少なくても設置できればという思いはあります。ご意見として伺い設置できればと十分スペースの確保を含めて考えたいなと思います。

トイレのスライドドアの部分でおっしゃるとおり、基本的にスペースの確保など対応したいと思います。ただ両方から入るとなると防犯上や動線を考え、今のところは一方から入る形が望ましいのかなと思います。

ご意見のお葬式を利用した人がこちらのエリアに入る、また逆に交流サロンの方からお葬式の方に入るといったことも考えられます。こういった管理や夜の閉館時間をどうするのかというのも大事なポイントだと捉えていますので、最低限必要なドアでの仕切りとか施錠とかある程度考えておかなければならないと思いますので、十分検討させていただきたいなと思います。

( 碓井課長 ) 今の設計が納期というのが8月末で、平面図を6月中旬ぐらいまで固めなければ、間に合わないということを業者からも言われています。今回色々ご意見あったことを積み重ねながら最終的な平面の部分、この明日、明後日にも議論を聞いた上で固め、次にはこのような形で決めさせてもらいました、ということでご報告をすることになると思います。極力ご意見を何とかしたいという思いがありますので、ご理解をいただければと思います。

## ( 2 ) 高齢者向け各種団体サービスなどのチラシ作成について ( 松本係長説明 )

( 委 員 ) 高齢者向けということなのですが、高齢者限定なのですか。体の不自由な方だと小さい赤ちゃんがいてなかなか外出が出来ないとか、こういうサービスが利用できればなと思っている方もたぶんいらっしゃると思うのですが。

( 相澤課長 ) もとからの発想が、高齢者支援ネットワークということで高齢者の困りごとを何とかみんなで話合って解決できないか、という話合いの中でこのようなものを一つ作って家の電話の近くでも貼ってもらえればということで、作成しています。

アイデアとしてはすごくいいなということで取り組んでいるのですが、僕らが作ると、どうしても表現が硬くなってしまいうので、皆さんからこうした方がいいのでは、とのアイデアをいただきたいなということです。配布は全世帯分を刷って区長回覧などで全部に配るような形を考えています。

( 委 員 ) 受付の時間をもう少し大きくした方がいいのでは。

( 委 員 ) 買物にいけない人で何かこれを買ってきてという注文などは、農協に行きたいけど行けないからこれがほしいといったら家事援助を使うという感じなのですか。どこにかければいいのですか。

( 相澤課長 ) 農協の場合はあくまでもお店で買ったものを配達するということなので、農協のサービスを使うとしたらまずお店に行かなければならないです。それ以外で宅配と

かお願いをしたら商工会のふれあいネットワークを使ってもらうという形になります。商工会に電話すると商工会で業者の選定とかしてくれます。

(委員長) 買物希望の方は宅配します、とかそのような表示があったらいいとか、例えば商工会ふれあいネットワークにかける場合は、とかわかりやすくあればいいのかな。

(相澤課長) もう一度商工会さんの方にどこまでのサービスができるか、というのを確認させていただき、今おっしゃられていることが対応できるということであれば追加で整理していきます。

(委員長) いつ配布するのですか。

(相澤課長) まだ正式にいつということは決まっていません。今日、明日色々な議論を整理した上でなるべく早めにとということです。

### (3) 災害時要援護者避難支援制度について(菊地係長説明)

(委員長) 確認したいのですが、奈井江町が独自でやりますよというのではなくて、法律的な部分があるということなので、どうやって皆さんに周知するか、皆さんのご意見を伺えればということです。萬さん知っていましたか。

(委員) 知りません。これは基本的には自分が登録するというか、自分の判断ですよ。でも本当に必要な人は、これは読めないかもしれません。民生委員さんとか各地区にいるのであれば、こういうのがあるよというように誰かが説明をしてあげないと本当に必要な人は登録されない気がします。

(相澤課長) 去年からこの取り組みが始まり全町的にお知らせはチラシでしています。チラシ配ったと同時に民生委員さんにもお願いして、歩いてもらったり、今年に入ってから動きが出てきているのが、連合区長さんが音頭を取っていただいて各区ごと回ってもらって出てきている状況なんです。

(委員) そういう支援が必要だという方からの登録ということですが、支援者として手を上げてくれる方が区長さんや民生委員さんだということですが、同時に地域支援者の方からも支援してくれる方を集めるというのはどうですか。この区はこの人が登録してあるよ、安心して出してください、という話もっていけるかなと。支援者の方も登録を事前にしておくという方法もいいのではないかと思います。

(相澤課長) なかなか支援者の方がいらないというような状況でして、20人から30人ぐらい登録

いただいているのですが、支援者の方というのは区長さんや班長さんが登録の方ばかりです。ただ今いいご意見をいただきましたので、検討させてもらえたらと思います。

(委員) 全町的に知られるように登録者側も支援者側も両方集めるほうがいいと思います。

(委員) 社協がずっとやっていた小地域ネットワークの延長ですから、それをもう少し広げたというようなものです。大事なことだと思うのですが、僕らの所は農村ですから、数も少ないですし、わりと目が届く。街中の人が大変だと思います。民生委員の方だけでは行き届かないと。救急医療キットなのですが、あれはどれくらい普及しているか教えていただきたい。

(岩口課長) 救急医療情報キットは、通っている病院や、緊急連絡先を書いて専用のケースに入れ冷蔵庫に入れておく。登録された方は消防にも情報が行きますので、電話かけたが、具合悪くて話せないという時には、救急隊が情報キットを見て、この人は砂川の病院だから砂川搬送するか美唄に搬送するという判断が出来ます。緊急時には、家族の方の連絡が取れるということになっており、大体 600 個ぐらいを配布していると聞いています。これからも普及拡大をしていかなければと思っています。

(委員長) 農村と街中はなかなかコミュニティも温度差があり、最近は特に町内会に入っていない人もたくさんいますし、大変になってきていると思います。今回のこの制度は私をはじめ、町民委員会の皆さんも初めてみたというのが正直な感想です。次回、地域コミュニティを含めた防災関係の問題も議題に出していきたいなと思っています。

#### (4) その他

(松本係長) 前回の町民委員会で、今後の地域住民の足の確保を行うということで、地域公共交通会議という組織を立ち上げ、検討を行うという説明させていただきました。

この議題については、この町民委員会でも議論をいただきたいと考えていますが、ここで出た意見をこの地域公共交通会議という場で、また公共交通会議で出た意見を町民委員会にということでそれぞれ進めていきたという考えでいます。そこでこの地域公共交通会議という組織を立ち上げるにあたりまして、町民委員会の中からどなたか 1 名をご選出していただきますよう、お願いしたいと思います。

(相澤課長) 今町営バスというのは奈井江駅前から向ヶ丘に一本走っているのと浦臼町と奈井江町に走っている路線の 2 本です。それが高齢化、買物弱者などというなかで、足を確保したいということで今年計画づくりをして、できれば来年から走らせたいという思いをしています。走らせるエリアをアンケートなどしながら路線を決めていくという会議をしたいと思っています。6月の終わりから7月の始めに1回目を開催し1~2ヶ月に1回の会議で皆さんから1人お参加をいただきたいということです。

(委員 長) 昼間の会議なので、制約がある方もいらっしゃると思います。誰もいなければ私が代表で出させていただいてよろしいですか。

それでは私が、まちづくり町民委員会の代表として出させていただきます。よろしくをお願いします。

(岩口課長) 前回、この委員会の中で福祉バスの関係で何点かご意見いただきまして、今日福祉バスの考え方を含めてお答えをしていきたいと思います。

福祉バスは昭和 62 年、高齢者と障害者の方には温泉に通ってもらおうということで始まっています。その後、空いている時間に町内団体に貸し出しをしてきたという経過があります。全町的な団体や社会福祉協議会、町内会とか子供会などの団体で、前回、町女連はいいけど、地区の女性団体はダメということ話ですが、基本的にはいいのですが、ダメと言われたのは日程や、条件があわなかったのかもしれない。

申し込みは 6 ヶ月前からで、若干の条件で、例えば片道何キロ以内、例えば 150 キロ以内じゃないとだめだとか、団体によっては、回数は年 2 回までとかあります。それらについてはそれぞれ代表される監事さんとかお世話される方がいるかと思しますので、事前に問い合わせをしていただければいいかなと思ってます。

次に奈井江学園で行事があった時に利用できないかということです。町で秋にやっている、ふれあいフェスティバルのことかと思いますが、これについては拓明興社さんの送迎もしていますが、実行委員会がありますので、その中でこのような意見があったということも踏まえて、調整が付けば大丈夫ということも申し上げます。

また、消防団で他の町は町営バスを利用して奈井江はレンタカーで利用するのはどうか、というご質問がありました。先ほども説明しました、温泉へ行く日程だとか、学校行事だとかを優先をして日程を組まなければならないので、一部そういうことで優先をさせていただくことがあります。日程が重複すると他のバスで用立てをしないといけないので、その部分を含めて予算措置をしているということを聞いていますので、必要なケースがあれば相談いただきたいと思います。

あと、基本的には 40 人乗りバスなので、半分以上は乗っていただきたいということや、例えば子供会で焼肉に行くから貸して、とはならないので研修や行事をやるとかで、使っていただきたいと思っています。そのようなことも含めて事前にご相談をいただきたいと思います。

(松本係長) 次回ですが、8 月下旬ごろの開催を考えております。またその時には皆様にご案内をさせていただきますので、よろしくお願いします。

(委員 長) 本日は長時間にわたり貴重なご意見ありがとうございました。